

「 政治・経済 」 シラバス

学科	普通科	学年	3 年	類型	I・II	組	1・2 組	単位数	4
使用教科書	高等学校 政治・経済（第一学習社）								
副教材等	最新図説政経（浜島書店）								

1 学習の到達目標

① 社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりするための知識や技能を習得する。 ② 授業での学習や探究活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができたか。	(1)(2)(3)(4)(5)(6)
思考・判断・表現	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養うことができたか。	(3)(4)(5)(6)
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めることができたか。	(3)(4)(5)(6)
評価方法	主な評価項目	
ペーパーテスト	(1)定期考査 (2)小テスト	
学習状況の観察	(3)毎時間の授業への取組、政治・経済に関する内容の知識・理解や興味・関心	
発表	(4)政治・経済に関する内容の知識・理解や興味・関心、発表資料及び内容	
課題レポート	(5)政治・経済に関する内容の知識・理解や興味・関心、調査方法、表現方法	
ノート	(6)学習内容の効果的なまとめ	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済 第1節 日本国憲法と現代政治のあり方 第2節 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方 第3節 市場経済の機能と限界 第4節 持続可能な財政および租税のあり方	- 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、偽善性民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 - 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 - 民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方、経済活動と福祉の向上との関連、市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察し、表現する。	(4) (4) (5) (4) (5)
二 学 期	第5節 金融を通じた経済活動の活性化 第6節 経済活動と福祉の向上 第2章 現代日本の諸課題の探究 第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治・経済 第1節 国際法の果たす役割 第2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割	少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と起業、歳入・歳出両面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明し、論述する。	(4) (4) (5) (4) (5)
三 学 期	第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質 第4節 国際経済において求められる日本の役割 第2章 国際社会の諸課題の探究	グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長市場、人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりなどについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明し、論述する。	(4) (5)

備考 (1)(2)(3)(6)については、全ての単元において評価項目として用いる。